



すみつけ祭

起源は江戸時代元禄年間といわれ、疫病が流行した当時、転んで鍋の墨が顔についた女性が病気になるなかつたことから始まったという言い伝えがあります。

祭りではまず、埼玉原加須市騎西の玉敷神社から御神体と天狗(猿田彦)面を借り受けることから始まります。その天狗面をつけて手に「ボンゼン」(幣束)と「木剣」(御神体を守る)を持った人を先達(せんだつ)に、御神体を奉持した人、オサゴ(櫃)米銭を入れる(を)を担いだ人、太鼓を担いで打ち鳴らす人、さらに顔中に墨を塗りつけた大人や子どもたちが続いて行列となり、家々をまわつて、家の人の顔に輪切りの大根につけた墨を塗ります。

墨をつけられた人はその年、風邪や悪病にかからず無病息災で過ごせるといわれています。

祭りの禁忌として、出産と死者のあった「ボク」(家)は避け、その家は門口に縄をはつておく風習があります。



天狗面をつけた先達



御神体が入った箱を家人の頭上にかざして無病息災を祈念する



1

時 2月11日(祝)

所 上福島公民館(玉村町上福島1001)・上福島地区

催 スケジュール(予定)

上福島公民館集合

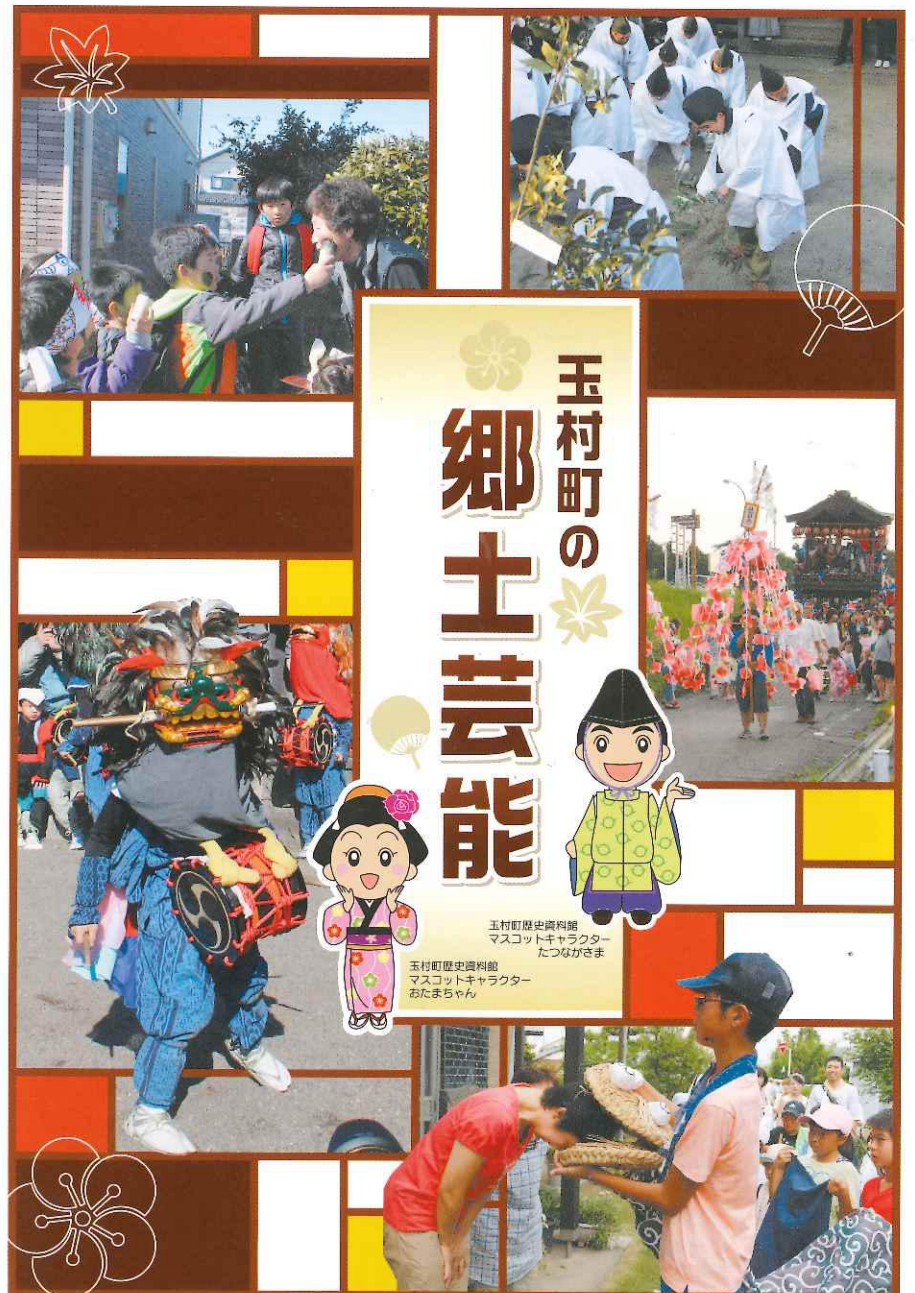
8:30 祈願

8:45 出陣(上福島地区の東から順に各家をまわる)

12:00 昼休憩

13:00 上福島公民館出発

16:00 終了



玉村町の郷土芸能



玉村町歴史資料館
マスコットキャラクター
たつながさま

玉村町歴史資料館
マスコットキャラクター
おたまちゃん



稲荷神社獅子舞

江戸時代元禄年間より伝わるものとされ、稲荷神社の春祭りに合わせて、氏子の安泰と五穀豊穡、悪魔払いを祈願して行われます。

この獅子舞は稲荷流に属するものでオトウカ(稲荷)、カンカチ(稚児)、前獅子(牡)、中獅子(牝)、後獅子(牡)の五人と笛数人で構成され、舞は、三拍子・花崩し・花酔ボンデン・剣の舞・綱切り・女獅子隠し・街道下り等があります。演目によつて歌(獅子歌)が入ります。

祭り当日は、獅子宿である公民館で「三拍子」などを舞った後、稲荷神社に向かい神前で「剣の舞」を奉納します。「街道下り」として万灯(青竹の先に花をつけたもの)二本を持ち、ボンデン(青竹に幣束をつけたもの)一本を持ち、県道四二号線を往来し、地区の両端で四方固めの舞「ボンデン」を行います。その後、再び公民館に戻り舞を行います。

昔は舞う子どもは長男と決められていましたが、現在は保存会により後継者が育成されています。



稲荷神社にて披露される「剣の舞」

2

時 2月11日(祝)

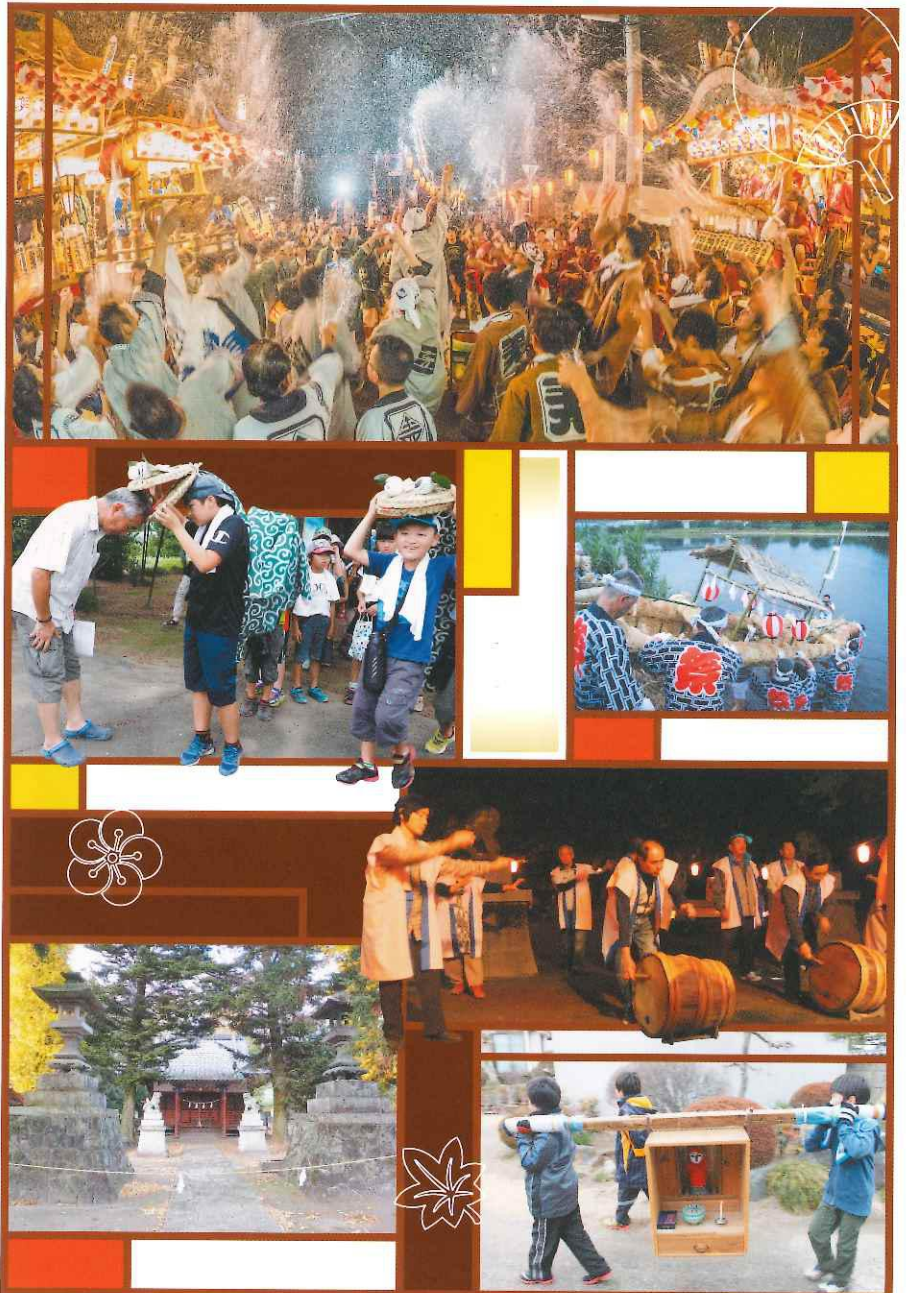
所 上新田公民館(玉村町上新田1880-1)・稲荷神社(玉村町上新田1590)・上新田地区(角町・三丁目)

催 スケジュール(予定)

9:30 上新田公民館出発

9:45頃 稲荷神社にて奉納の舞

その後お昼頃まで地区内を練り歩き、地区の東西両端で四方固めの舞「ボンデン」披露、昼休憩後、15時頃まで上新田公民館にて獅子舞を披露



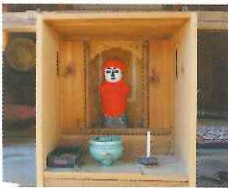


地蔵祭

養命寺境内にある北向き地蔵堂に祀られている地蔵様の祭りです。明治後期、この地に疫病が流行したとき、地蔵様を担いでまわり祈願したのが始まりとされています。祭りの中心は前日に行われる地蔵担ぎです。

世話役が地蔵堂に祀られている北面子育地蔵尊と呼ばれる三体の地蔵様に化粧を施し、その内の一体の小さい地蔵様を厨子に入れます。その中に口ウソクと線香をたてて、子どもたちが元気よく「地蔵様ワツシヨイ」と連呼しながら地域をまわります。

これを待ちかまえていた人々は、地蔵様に線香や賽銭を供え、家内安全、無病息災などを祈願します。



小学生(3年生以上)が厨子を担ぐ

4

時 2月・7月
(日程が変動します。)
所 養命寺(玉村町箱石342-1)・箱石地区
催 スケジュール(予定)
地蔵担ぎ9:00 養命寺集合
地蔵を担いで地区内をまわる。



春鋤祭

農耕開始の祭礼として、その年の豊作をあらかじめ祝う祭りです。寛政十年(1798)刊行の「伊勢崎風土記」に祭りの記述があることから、江戸時代以降伝えられてきたと考えられます。

祭りは、餅を取り付けた檜(本来は桐)の枝を「鋤」、拝殿前にコの字形に縄で囲んだスペースを「水田」、振舞われるお神酒を「水」に見立てて行います。白丁姿の氏子たちが鋤持役になり、作頭の合図のもと「クロヌリ」などの所作をします。

祭典長の禰宜が頃合いを見て「春鋤よし」と叫ぶと、一同が「いつも、いつも、もも世よし」と唱和します。これを三回繰り返すと、持っていた鋤を投げ、観衆が鋤を奪い合います。取った鋤を家に飾っておくと養蚕があたり、また、一緒にゴシモチ(切り餅)やみかんもまかれ、初穂を拾うとその年豊作になるといわれています。



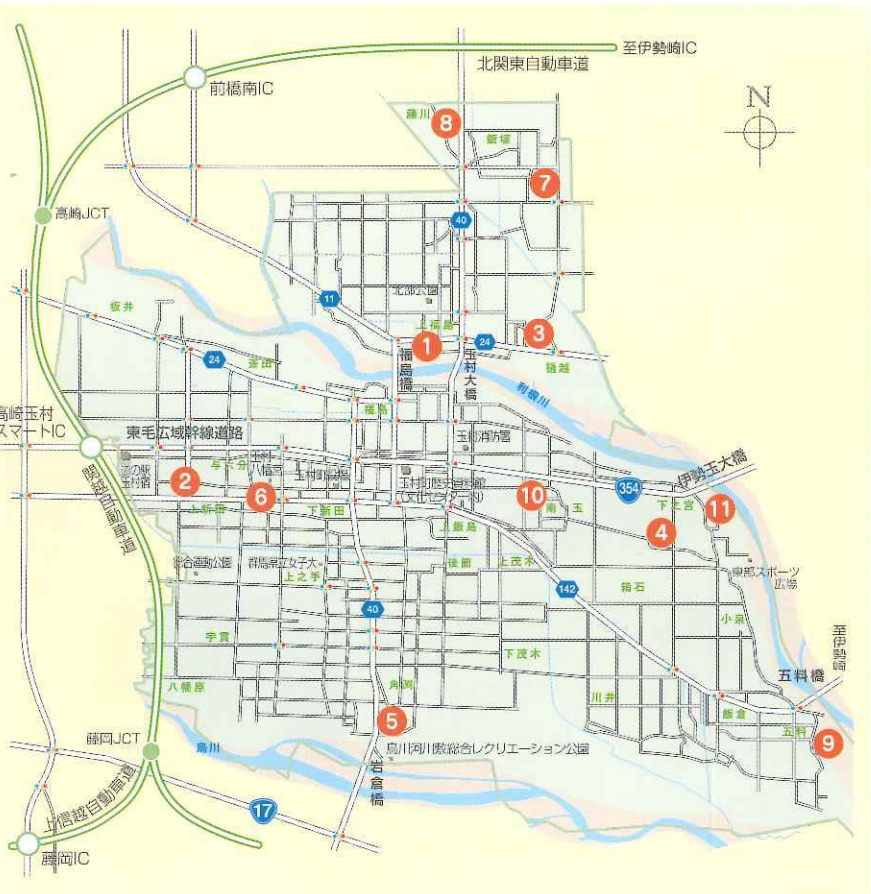
神明宮に向かう一行



鋤持たちによるクロヌリの所作

3

時 2月11日(祝)
所 神明宮(玉村町樋越412-4)
催 スケジュール(予定)
14:00 禰宜宿を出発し、原森公民館へ向かう
14:30 原森公民館に各地区から鋤持等が集合、神明宮に向かう
15:00 拝殿で神主・禰宜・氏子総代・作頭・鋤持たちによる祭典
15:30 境内で春鋤祭の本番
16:00 終了



玉村町へのアクセス

関越自動車道高崎玉村スマート ICより車で 約5分
関越自動車道高崎 ICより車で 約20分
北関東自動車道前橋南 ICより車で 約10分
上信越自動車道藤岡 ICより車で 約20分
JR高崎駅より車または群馬中央バスで 約25分
JR新町駅より車または永井バスで 約10分

玉村ふるさとわくわくスタンプラリー

郷土芸能が行われる日限定で、会場にスタンプが設置されるよ！
スタンプを集めて景品をゲットしよう！

玉村町歴史資料館 マスコットキャラクター おたまちゃん
玉村町歴史資料館 マスコットキャラクター たつなちゃん



●スタンプを3つ、4つ、5つと集めるごとに記念品がもらえるよ！

3つ……歴史資料館オリジナル鉛筆
4つ……歴史資料館オリジナルシール
5つ……歴史資料館オリジナルメモ帳

記念品の交換は、歴史資料館・文化センター内の文化財係事務室で行います。

歴史資料館使用欄
3個 4個 5個

注意事項

- お祭りはルールを守って見学しましょう。
- 民家の敷地や畑などの私有地に勝手に入ってはいけません。
- 道の駅玉村宿・玉村町歴史資料館は開館日に押すことができます。
- 道の駅玉村宿・玉村町歴史資料館・玉村祇園祭以外のポイントについては、専用駐車場がありませんので、近隣住民の迷惑にならないようにご注意ください。(お祭りによっては当日のみ用意される場合もあります。事前にお問い合わせください。)
- イベント中の事故等につきましては、主催者側ではその責任を負いかねますので、安全には十分注意してください。
- 途中でスタンプを押した台紙を紛失しても再発行できません。
- 麦まき御神事はチェックポイントがありません。

発行日/2018年 7月
発行/玉村町教育委員会(生涯学習課文化財係)
〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325番地 玉村町文化センター内
電話 0270-30-6180 FAX 0270-30-6183
※各祭りとも地域主催で行われているため、日程や時間に変動が出る場合があります。



町重無民

悪魔払い(飯塚)

飯塚の飯玉神社に祀られている八坂神社の祭りで、飯塚の西組(藤川に入る)を除く前屋敷・北口・田中・中屋敷で行われ、祇園祭の変型と考えられています。

俵端を二つ重ねて一カ所を連結し、中に赤い紙で舌をつけ獅子頭を作ります。耳は枇杷の葉で作られ、半紙で目と鼻もつけ、唐草模様の大風呂敷をつけて獅子頭となります。

当日は飯玉神社に集まり参拝し、獅子頭をかぶった子を中心に、幣束をつけた神の枝を持ち、「悪魔っばらい、悪魔っばらい」と叫びながら地区内を順にまわります。

そして家人の頭を獅子頭ではさみ、悪魔を払います。小学生の子どもたちが中心のお祭りです。



7

時 7月24日

所 飯玉神社(玉村町飯塚295)・飯塚地区

催 スケジュール(予定)

15時から神主による祈願の後、飯塚(西組以外)地区内の家々をまわる。



町重無民

角泷の祇園祭

江戸時代からあったと伝えられ、明治になり養蚕業の好景気で二層盛大になったといわれています。悪霊や疫病神を鎮める目的で、現代でも賑やかに行われています。

祭祀する八坂神社は堀西組は角泷八幡宮、堀東組は地区内と二カ所(石造りのほこら)です。

屋台は堀西組と堀東組が各一台ずつ持つっており、以前は青年が囃子方を務めていましたが、現在は主に子どもたちが演奏しています。二台の屋台で各組内を巡行したあと、角泷八幡宮などで、太鼓囃子の「ぶっこみ」(祭囃子の競いあい)が行われます。

屋台の人形は明治時代中期頃までは操り人形が使われていましたが、現在は毎年新しく舞台芝居をかたどったものが使われています。



堀東組(左)と堀西組(右)による「ぶっこみ」

5

時 7月上旬の土・日曜日

所 角泷八幡宮(玉村町角泷2075-1)・角泷地区

催 スケジュール(予定)

※「ぶっこみ」が行われるのは
<1日目> 1回目: 20:00~20:10 (角泷地区内の八坂神社)
2回目: 21:30~21:40 (角泷八幡宮)
<2日目> 21:30~21:40 (角泷八幡宮)



町重無民

悪魔祓い(藤川)

藤川の稲荷神社境内に鎮座する八坂神社の祭りで、下藤川を除く藤川地区と飯塚の西組で行われ、飯塚の悪魔払いと同じく祇園祭の変型と考えられています。

獅子頭は、俵端を二つ重ねて一カ所で結び、半紙を丸めたもので眼と鼻と耳を表します。赤い紙を舌に見立て、唐草模様の大風呂敷をつけてます。

祭り当日、神主の祈禱を受けた子どもたちが「悪魔っばらい、悪魔っばらい」と声を張り上げながら家々をまわります。獅子頭をかぶった子、小太鼓をもった子、布の袋(賽銭を入れる)をもった子、ノートルほどの篠竹に三〇センチほどの御幣をつけたものをもった子からなり、家人の頭を獅子頭でかじるようにはさみ、疫病や災いを祓います。飯塚の悪魔払いと同じく、小学生の子どもたちが中心のお祭りです。



8

時 7月24日

所 稲荷神社(玉村町藤川55-1)・藤川地区

催 スケジュール(予定)

14時から神主による祈願の後、藤川(下藤川以外)地区・飯塚(西組)地区の家々をまわる。



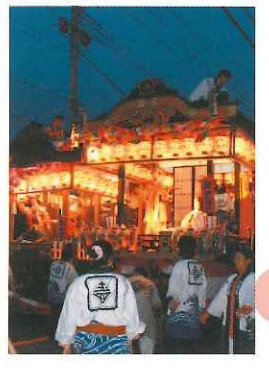
町重無民

玉村の祇園祭

上新田(四丁目)・下新田(五・六・七丁目)に祀られている八坂神社の祭りです。現在は「ふるさとまつり」という名称で、様々な行事とともに行われています。四丁目の八坂神社は稲荷神社に、五・六・七丁目の八坂神社は玉村八幡宮境内に祀られています。

祭り当日、県道二四二号線(旧日光例幣使道)において、各町内の屋台が行き交い、町内の子どもや大人たちによって、祭囃子が演奏されます。六台の屋台による「ぶっこみ」(祭囃子の競いあい)が行われます。引さ屋台の上に飾られる歌舞伎を題材とした人形も見ごたえがあります。

五丁目と六丁目には、江戸時代に玉村八幡宮の大祭で使用された旧屋台が残されており、いずれも町の重要文化財に指定されています。



お囃子の練習風景

6

時 7月第4土・日曜日

所 旧日光例幣使道沿い上新田・下新田地区

※詳しくは祭り時期に発行されるふるさとまつりのパンフレットをご参照ください。



火雷神社に伝わる昔話

貞観4年(862)のできごと、天災や不吉なことが続いていたので、国司は神官に命じて火雷神社にお祓いをしようとし、そのとき、この地を治めていた「那波八郎廣純」という武士も連れて行きました。折りを待って7日目、突然怪物が姿を現し、神鏡を奪おうとしましたが、廣純は刀を振ってその首を切り落としました。このとき、怪物の折れた角を川に投げ、後に淵になったところが、玉村町の「角淵」、切った手を捨てたところが玉村町の「上之手」(神の手)であるといわれています。

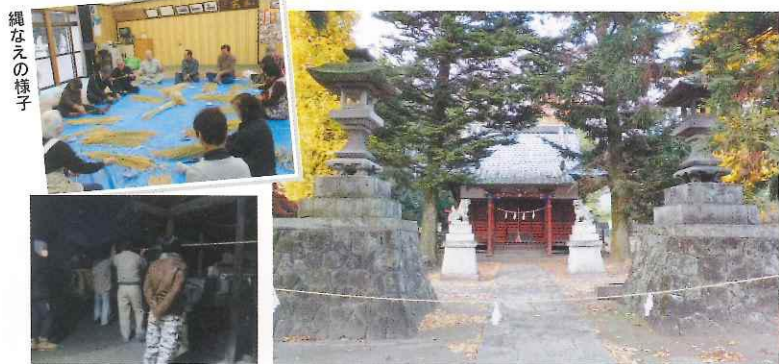
この神事を麦蒔御神事というのは、ちょうど麦蒔の時期に行われてきたためであるろうと、土地の人は伝えています。

延喜式に記載された上野国十二社の八の宮である火雷神社に伝わる祭りで、貞観四年(八六二)より始まり、五穀豊穡、災難よけの秘密の神事として行われています。



町重無民

麦蒔御神事



縄を張る様子

時 旧暦10月末の午の日の丑の刻~旧暦11月初午の日の夜明けまで

所 火雷神社(玉村町下之宮524)

※真夜中の秘密の神事のため、一般の方は残念ながら見学することはできません。



11



町重無民

水神祭

五料の飯玉神社に合祀された水神様の祭りです。麦わらで作った大きな舟が、神輿として登場します。

利根川と烏川が合流する五料地区は、かつて船頭の村で江戸時代には二つの河岸(川の港)がありました。水神様は地域や船頭を水難から守る守護神として祀られ、水神祭は水難除け祈願から始まったとされています。

祭りの一週間前の日曜日に神社の境内で麦わらや青竹などを使って、本物そっくりの約七メートルの舟をつくりまわす。祭り当日は子どもたちが麦わら舟(水神丸)をリヤカーに乗せて地区をひいてまわり、薄暗くなった頃、大人たちにより担がれ、利根川に流されます。舟とともに厄を消し去るといふ願いから、できるだけ遠くに舟を流し去った方がよいとされています。



利根川に流される「水神丸」



9

時 7月25日に近い日曜日

所 飯玉神社(玉村町五料1010)・五料地区

催 スケジュール(予定)

16:00 集合
16:30~ 地区内にて麦わら舟をひきまわす
18:30頃 利根川に麦わら舟を流す



飯玉神社 9

玉村町の無形民俗文化財一覧

平成30年7月1日現在

種類	指定年月	指定物件名	所在地	所有者(管理者)
国重無民	H14.2.12	春鞆祭(橘越)	玉村町橘越412-4(神明宮)	春鞆祭保存会
県重無民*	H27.3.24	水神祭(五料)	玉村町五料1010(飯玉神社)	水神祭保存会
町重無民	S46.4.1	稲荷神社獅子舞(上新田)	玉村町上新田1590(稲荷神社)	稲荷神社獅子舞保存会
"	"	すみつけ祭(上福島)	玉村町上福島1001(上福島公民館)	すみつけ祭祭典委員会
"	"	横樽音頭(南玉)	玉村町南玉760(住吉神社)	横樽音頭保存会
"	"	祇園祭(上新田)	玉村町上新田1590(稲荷神社)	上新田区
"	"	祇園祭(下新田)	玉村町下新田1(玉村八幡宮)	下新田区
"	"	祇園祭(角淵)	玉村町角淵2075-1他(角淵八幡宮)	角淵区
"	H12.4.27	地藏祭(箱石)	玉村町箱石342-1(養命寺)	地藏祭保存会
"	"	麦蒔御神事(下之宮)	玉村町下之宮524(火雷神社)	麦蒔御神事保存会
"	"	悪魔払い(飯塚)	玉村町飯塚295(飯玉神社)	悪魔払い保存会
"	"	悪魔祓い(藤川)	玉村町藤川55-1(稲荷神社)	悪魔祓い保存会

●国重無民...国指定重要無形民俗文化財 ●県重無民...県指定重要無形民俗文化財 ●町重無民...町重要無形民俗文化財
※国の選択/記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 五料の水神祭

玉村町歴史資料館

常設展示コーナーでは、江戸時代に宿場として栄えた玉村町の姿やそれまでの歴史を考古・歴史資料や映像などで紹介。季節ごとに企画展・体験学習・歴史講座なども行っています。

開館時間:午前10時~午後4時
休館日:月・火・水・祝日 入館無料

歴史資料館ではお祭りの写真や映像も見られるよ!

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325 玉村町文化センター内
TEL:0270-30-6180 FAX:0270-30-6183 E-mail rekishi@town.tamamura.lg.jp
URL http://www.town.tamamura.lg.jp/rekishi_bunka/rekishi_shiryokan/

道の駅 玉村宿

「玉村宿」は江戸時代、日光例幣使道1番目の宿場として栄えました。当時の宿場町と同じようににぎわって欲しいという願いを込めて「玉村宿」と名付けられました。採れたて新鮮野菜や、卸売市場直売店の「肉の駅」ならではの新鮮で上質なお肉や、揚げたてコロケ、メンチなども販売しています。食堂の「Tama亭」では、地場産食材を使った料理を提供しています。



開館時間:9:30~19:00
休館日:毎月第3水曜日
※年末年始はお問合せください。
玉村町大字上新田604-1
TEL:0270-27-6688

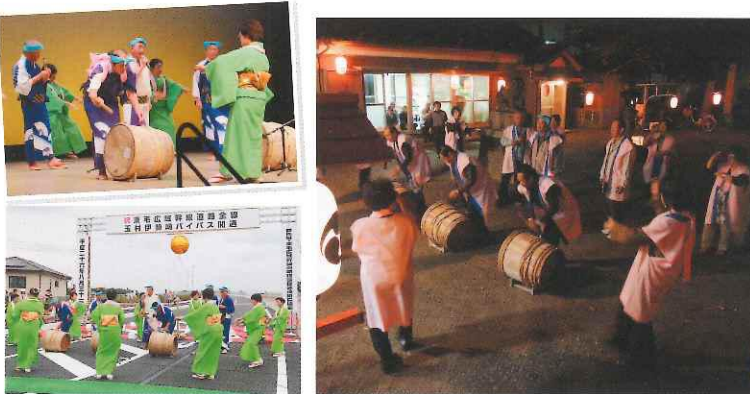


町重無民

横樽音頭

昔、南玉の住吉神社の大祭前夜の宵祭りでは「おこもり」と称して氏子たちが酒宴を開き、一晩中歌ったり踊ったりして夜を明かす行事がありました。そのとき飲み干した空の四斗樽を横にして叩いたのが始まりといわれています。

江戸末期頃始まったと思われる、当初は豊年踊りとして行われたようですが、昭和九年全国民謡大会に出場の折り、樽を横にして演奏する珍しい形をもつことから「横樽音頭」と名付けられました。横樽音頭は酒樽、すり鉦、笛と楽器を持たない音頭取りと踊り子で構成されていて、演目には「国定忠治」などがあります。また、一説では八木節の源流は横樽音頭であるともいわれています。



10

時 10月16日 大祭前夜の宵祭り

所 住吉神社(玉村町南玉760)

(その他、町内の行事などに年4、5回出演)

